

幼児の実態

牛乳に苦手意識があり、なめる程度しか飲めない。

☆手立て

- 紙パックの中は見えないことで、どれぐらい飲んだか分かりにくい。量りに置くことで、視覚的に量が見えるようにする。
- 最初は、「この線まで」と少量にし、少しずつ飲む量を増やしていけるようにする。



- 数や量に関心がある幼児であることで、少しずつ針が0に近付いていくことを喜び、楽しみながら飲むようになる。

支援を受けてみて

- もうこんなに減ったよ。(幼児)
- 0になった!(幼児)
- 一口も飲めなかった子が、全部飲みきれるようになってうれしい。(保護者)